

鵜住居都市下水路

鵜住居地区は太平洋に面する低地地区で、昭和47年の台風では全世帯が浸水の被害を受けるなど、降雨時には必ず浸水にみまわれた。一方、国道の整備により当該地区が市街地に近接したため都市化が急速に進み被災時の拡大が懸念された。岩手県では河川のはん濫、海岸の高潮対策として堤防嵩上げを実施している。このことから当市も内水の排除を図ることを目的として整備された。

都市下水路施設としてポンプ場がある。

第20回審議会

計画決定 昭和50年1月30日

告示 第1181号

排水区域

名称	面積	摘要
鵜住居都市下水路	56ha	市街地27.6ha 山間地28.4ha

下水管渠

名称	位置		区域		備考
	起点	終点	管径又は幅員	延長	
鵜住居1号幹線	釜石市鵜住居町第15地割60番地	釜石市鵜住居町第15地割21番地	2.10×1.15m	90m	幅×深さ
			2.00×1.10m	60m	
			1.80×1.00m	250m	
			1.70×0.90m	100m	
鵜住居2号幹線	釜石市鵜住居町第15地割21番地	釜石市鵜住居町第15地割15番地	0.90m ヒューム管	200m	幅×深さ
放流管渠	釜石市鵜住居町第15地割60番地	釜石市鵜住居町第15地割60番地	2.10×1.15m	20m	
計				720m	

ポンプ施設

名称	位置	敷地面積	備考
鵜住居ポンプ場	釜石市鵜住居町第15地割60番地	880m ²	



八雲都市下水路(現八雲雨水幹線)



鵜住居雨水排水ポンプ場